



秋闘：業態別対策中央行動を展開

道農連は11月13～14日に米・水田、14～15日に畑作・野菜、27～28日に酪農・畜産対策中央行動を展開し、道選出国會議員や農水省等へ要請した。

米・水田農業対策では、総勢21名で食料安全保障等の視点に立った米・水田農業政策の推進や、水活・畑地化促進事業の十分な予算確保などを求めた。

畑作・野菜対策では、総勢50名で畑作物における国境措置の確保のほか、持続可能な畑作農業政策の確立、野菜政策の拡充・強化などを求めた。

酪農・畜産対策では、総勢31名で国内酪農・畜産の存続に向けた基本政策の確立や、将来が展望できる2024年度畜産物価格等の決定などを求めた。

次世代を担う組織活動に関する研修会を開催

道農連は11月6日、札幌市内で「次世代を担う組織活動に関する研修会」を開催し、全道から若手の盟友を中心に約60名が参加した。

研修会では、HBCアナウンサーの森結有花氏が「どろんこアナウンサー、7年目～畑が教えてくれたもの～」と題し、番組を通じて感じた農業の魅力や生産者への思いなどを語った。また、中原浩一道農連書記長が組織結成50年の歴史や経過、運動の成果などを踏まえ、組織活動の重要性を説明し、運動の参画を呼び掛けた。

全道書記長・事務担当者研修会を開催

道農連は11月22日、札幌市内で全道書記長・事務担当者研修会を2部構成で開催し、全道から各市町村組織の書記長や事務担当者ら約140名が参加した。

第1部は、道農業青色申告会（会長：中原浩一道農連書記長）主催による2023年度税務研修会が行われ、道税理士会の森下浩常務理事が「円滑な税申告に向けた最終確認など」、札幌国税局課税部個人課税課の生野勇輝記帳指導専門官が「2023年分確定申告等について」をテーマに講演した。

第2部は、道農連／（一財）道農連会館主催の農政研修会を行い、（一財）食品産業センターの荒川理事長（元農水省大臣官房長）が「基本法農政の今後～『食料安全保障』と『適正な価格形成』を中心に～」をテーマに講演した。

11月の活動記録（上記以外）

- 1日 道農産協会てん菜現地ほ場調査
- 2日 第3回酪農・畜産対策委員会、道農政事務所との意見交換、食・みどり・水を守る道民の会学習・試食会
- 8日 道農産協会てん菜受入現地調査
合成洗剤追放北海道連協会運営委員会
- 9日 西神楽農民連盟研修会来局
- 13日 立憲民主党税制改正ヒアリング
- 30日 4地区事務局会議（オンライン）

12月の活動予定

- 1日 道農業ジャーナリストの会第2回研究会
- 5日 道農業青色申告会簿記帳講習会（～7日）
- 6日 持続的畑作生産体系確立事業説明会
- 12日 全道地区・市町村組織委員長会議、北海道農民連盟結成50周年を祝う会
- 13日 第1回組織財政委員会
- 15日 食・みどり・水を守る道民の会幹事会、空知管内農民協議会三役との意見交換、北見地区農民連盟結成75年記念式典・祝賀会
- 19日 道農産協会企画調整専門部会
- 21日 第6回執行委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（TEL011-241-5416）まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

